

## 自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価			
データ 分析 表	データ表		データグラフ
	内容	項目数	
	「乳児保育」	15	
	「3歳未満児保育」	26	
	「3歳以上児保育」	0	
	「教育保育の配慮事項」	16	
	「健康・安全」	29	
	「子育ての支援」	18	
	「職員の資質向上」	9	
	計	113	
総合 評価	<p>web 会議やグループ会議を通して職員同士が思いや考えを話し合い相談できる機会を設けることで、保育で実践していくことができ意欲ある職場環境となった。</p> <p>擁護面では力を入れていたが、人権擁護の研修を行うことでたくさんの気づきが生まれ、さらに意識を高められるようになった。</p> <p>地域との信認の構築を目指す中では、法人の就労支援事業の協力として園前で手作りパンを販売する機会があり、地域の方と交流ができた。園の認知度を高める機会にもなったりした。今後はボランティアの受け入れや実習生の受け入れにも取り組んでいく。</p>		

## 事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
こども・子ども・高齢者・障害者との「信任」の構築	マニュアルに基づいた感染予防、拡大防止に関する研修を6ヶ月に1回実施する(年2回)
保護者との「信頼」の構築	取り組みにおいてのアンケートの実施を行い、満足度の把握と課題の抽出・改善に努める(年2回)
地域との「信認」の構築	シニア元気ポイントのボランティアの受け入れ(年間1名)やトライやるウィークの受け入れ(年1回)を行い保育の中で高齢者や中学生との関わりを深めていく